



2021年11月1日発行  
 公益財団法人とちぎYMCA  
 〒320-0041  
 宇都宮市松原 2-7-42  
 Tel 028-624-2546  
 Fax 028-624-2489  
 www.tochigiymca.org  
 発行人/塩澤 達俊  
 編集人/公益財団法人とちぎYMCA

# YMCA News

## 11



## 『ワイズと YMCA』

宇都宮ワイズメンズクラブ  
 大久保 知宏

表紙の写真から：

緊急事態宣言が明けて予定通り行えたさくらんぼ幼稚園運動会年中組お遊戯の様子。  
 天気にも恵まれ、存分に成長した姿と笑顔を届けています。

宇都宮ワイズメンズクラブの大久保です。ワイズメンズクラブは各地のYMCAをサポートすることを目的として設立された国際的な奉仕団体で、1922年にアメリカトレドで最初のクラブが設立されてから100周年を迎えました。70か国に25,000人の会員がいて、各地域のYMCAの支援、地域奉仕を行っています。今年度、私はクラブの集合体としての東日本区という800人の会員のいる組織の理事を務めていますが、この組織は今年の6月に法人格を取得し、一般社団法人となりました。社会的に責任のある立場でより積極的に奉仕活動を行う準備を整えようと考えています。私自身は長くワイズメンズクラブの中でユース事業に携わっています。ユース事業は4本の柱の事業があります。1本目の柱は、ユース・ボランティアリーダーズ・フォーラムの開催です。このフォーラムはリーダー経験のまだ短いリーダーを対象としたもので、今年もとちぎYMCAから5人のリーダーが参加しています。2本目の柱が、オープン・フォーラムYの開催です。これは先のリーダートレーニングのフォーラムと違って、いろいろな社会課題をユースとワイズが共に考える機会となるフォーラムです。貧困、HIV、いじめなどの課題へのアクションを考える場となることが期待されています。3本目の柱は今年度から開始される”

Y's×SDGs Youth Action”です。ワイズとYMCAのパートナーシップの中で、日本の各地のユースに働きかけ、SDGsをテーマに、ユース自らが考え、行動を起こしていくことを、各地のワイズメンズクラブやYMCAが伴走し、サポートしていく事業です。4本目の柱も今年度から始まったiGOです。Internships 4 Global Outreachの略で、国際的な職業経験の場をワイズとYMCAの協働の中でユースに提供する事業です。受入れ組織の開拓から始めています。この事業は海外に移動することで、コロナの影響を強く受けることからこの事業の国内版iDOの構築を併せて行っています。このように、ワイズメンズクラブはYMCAに集う若者たちをYMCAとともに育成することを重要なミッションと捉えています。また、ワイズメンバーはユースのメンターと期待されていますが、逆にユースから学ぶことが多いと思っています。ユースの皆さんをリバーシブル・メンターとして、共に成長するような形が理想と考えています。

宇都宮ワイズメンズクラブ  
 大久保 知宏



とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2021年度とちぎYMCA年間聖句

(創世記 第1章 第3節)

「神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。」



### 認定こども園 さくらんぼ幼稚園

## 「 運動会 」

短い練習期間でしたが、毎日集中して練習に取り組んでいました。

組体操では裸足になり、痛さを我慢して格好いい姿を見せてくれました。障害物競走、つなひき、リレーは一人ひとりが最後まで諦めず一生懸命頑張りました。ソーランは、力強い動きで年長らしい頼もしい姿で感動しました。

この運動会でとても成長した年長さん。私たちは大満足の運動会でした。

うめ組担任 宮島 未来



## 「 野外保育 」

森林公園に到着すると、地面一面に落ちているどんぐりに目を輝かせた子ども達。さっそく夢中で拾い始めました。小さな手で一生懸命拾い集めるその姿のかわいさ♡木によって形や大きさが違うどんぐりを見つけて「見て、見て。」と嬉しそうに見せてくれました。年長さんに手を引かれて一緒にどんぐり拾いをしたり、広い原っぱを思い切り走り回ったりして、気持ちのよい秋の季節を満喫してきました。

すみれ組担任 手塚 真理子



## 「 秋の遠足 」

大型バスによって行った那須どうぶつ大国への遠足。とても楽しみにしていた子どもたちです。

到着すると、目を輝かせながら、「かわいいね!」「こっち見てよ!!」と友だち同士での会話も弾み、ペンギン、マヌルネコ、カピバラなどたくさんの動物を間近で見るとは大興奮でした。

少し雨がぱらつき、寒かったですが、子どもたちの元気一杯のパワーで充実した楽しい一日になりました。

ひまわり組担任 薄井 祥代



### ようとう保育園

## 「 幼児組交流保育 」

幼児組夏のあそびイベント月間の最後のイベント「幼児組交流保育」を行いました。

さくら組おばけやしき、ふじ組水族館、うぐいす組プラネタリウムとそれぞれクラスでの出し物を決めて日々準備を進めてきました。

うぐいす組のプラネタリウムでは、ダンボールに穴をあけて作ったプラネタリウムにみんなうっとり。係のお友だちに案内してもらった席に座り、うさぎやハート、お花など様々な形の星の観察を楽しみました。

ふじ組の水族館では大きなジンベイザメがみんなをお出迎え。



部屋の中は、子どもたちが図鑑を見ながら作った個性豊かな魚たちがたくさん展示されていました。見るだけでなく、ふれあいコーナーで魚に触ったり、係のお友だちから魚の説明を聞いたり、本物の水族館気分を味わうことができました。

入る前からドキドキのさくら組

おばけやしき。大道具や小道具だけでなく、舞台設置や演出まで子どもたち同士で考えました。暗い部屋でお面を付けたおばけに追いかけるのは迫力満点。あまりの怖さに泣いてしまう子もいるくらい完成度の高いものとなりました。

イベントに向け、どうしたら良くなるかを自分たちで考え、準備することで子どもたちの協同性・協調性を育てることができました。また、異年齢児をもてなしたことで、自信や異年齢児への思いやりも味わうことができたと感じました。今後もクラス内外関わらずお互いが刺激しあい、成長しあえるような活動を取り入れていきたいと思っています。

中島 菜緒

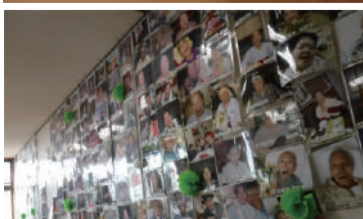
### 特別養護老人ホームマイホームきよはら

## 「 タベの光 」

マイホームきよはらでは例年では10月に【タベの光の会】を行っております。どのような行事化かというと、今までマイホームきよはらで亡くなられたご利用者様のご家族をお招きし、職員やご家族様同士でお茶をしながらお話しをしてご利用者様を想う会になっています。今年は新型コロナ



ウイルスの感染予防の為中止になってしまいましたが、ご利用者様の写真を飾らせていただきました。その写真をみてご利用者様から「あのおばあちゃんとは一緒に花見をしたのを覚えている。」と嬉しそうに話されており、職員やご利用者様が思い出話に花を咲かせていました。来年には新型コロナウイルスが落ち着きタベの光の会が開催でき、ご利用者様のご家族の皆様とお話できることを心より願っています。



### 宇都宮市青少年活動センター トライ東

## 「 ロビーが新しくなりました 」



原則休館措置が終了し、10月1日(金)より、利用者の皆さまのスポーツを楽しむ声や楽器を演奏する音などが響き活気が戻ってまいりました。職員一同心より楽しみにしていた日を迎えることができ、とても嬉しく思います。

さて、館内の様子といたしましては

休館中にロビーを一新しましたのでご紹介いたします!

机や椅子の位置を変え、さらには畳を導入しました。窓際の机は外からの風と光が入り、自習や作業をするのにうってつけの場所です。またテレビを観てくつろいだり、畳の上ではマンガを読んだり、お友だち同士でゲームをしたりと居心地の良い空間になりました。

さっそく、小さな子どもたちが楽しく遊んだり、テスト期間中の高校生が自習をしに来たり、と素敵な姿を見受けられました♪



Learning by doing ー成すことによって学ぶ。ー

# ウィンタープログラム2021-2022がはじまります!

迫力いっぱいの  
冬がきた!!

11月5日 (金)

13:00 ~

お申込みスタート



とちぎ YMCA ではこの冬子どもたちの全人的成長を願い、ウィンタープログラムを計画しております。それと同時に、コロナウイルス感染拡大防止についても引き続き対応をしていく所存です。つきましてはプログラムについて以下の通りとさせていただきますので、ご確認の上、お申し込みくださいようお願いいたします。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

YMCA のキャンプは、「為すことによって学ぶ (Learning by doing)」を理念とした野外教育活動です。その理念は、「どのような教育的な経験も、子ども (対象者) の興味・関心から離れていたならば、その経験は子ども (対象者) にとって本質的なものにならない。よって興味と自発性に基づいて子どもを導く」という考え方に導かれたものです。

子どもたちは、友だちと一緒に自然の中でさまざまな活動をするによって、人間関係を学び、自然・社会への関心を深めていきます。YMCA では、子どもたちが安全に、安心して、たくさんの自然に触れながら、仲間と一緒に思いっきり遊ぶことを通して、一人ひとりの豊かな成長を育みます。

## ウィンタープログラム予定

### 宿泊スキーキャンプ

那須エンジョイスキーキャンプ (2022/1/8-10)

那須チャレンジスキーキャンプ (2022/1/8-9)

### 日帰りスキープログラム

ワンデイスキー① (2021/12/28)

ワンデイスキー② (2021/12/29)

### 3 Day プログラム

Music 3 Days (2021/12/26-28)

冬っこ 3 Days (2022/1/4-6)

## 第500回 早天祈祷会

キリスト教信仰の特徴は、建物ではなく信仰者の集まりとしての教会について、「我は公同の教会を信ず」と信仰を告白する。その信仰を互いに確認する行為として「共に祈る」ことがある。YMCA が教会から押し出された運動体であることを示す一つの具体的な行為として、「共に祈る」場を持つことであり、その一つが早天祈祷会である。

【とちぎYMCA40年誌より一部抜粋】



学校法人の理事長を務められた十河弘さんが、宇都宮 YMCA の発会翌月、1978年5月20日に開かれた教会協力委員会で早天祈祷会を提案して採択されました。翌月から第1月曜日の朝、勤め先に向かう前の時間に集まることとして、1978年6月5日に第1回早天祈祷会が宇都宮栄光

教会秋本牧師の奨励で開催されました。【とちぎYMCA40年誌より一部抜粋】そして発会から44年目の今年の10月に500回を迎えることができました。(全国のYMCAでも同じように早天祈祷会がもたれています)

今までにご参加くださいましたみなさまへ感謝を申し上げます。YMCAの活動は祈りによって支えられております。どなたでも参加できる開かれた集会プログラムとして、これからも大切な「早天祈祷会」を継承していければと思います。

## つぼみ × ろまんちっく村マルシェ

ろまんちっく村で『道の駅でSDGs!マルシェ』が開催されました!

つぼみはネパール、北タイ、フィリピンのフェアトレード品の販売を行いました!フェアトレードの背景にはハンセン病や貧困など...さまざまな問題があることを知ることが出来る良い機会となりました!!!



以下、参加したリーダーの声

【ジジ】

他団体やお客さんとの関わりを通して多くのことを学び、そして優しさに触れることが出来ました。また、フェアトレードの背景を知り、国際に対する理解を深める良い機会となりました。学校に通うため、生きがいを得るためなど...一人ひとりが自分の問題と向き合い、生活をしていることを知りました!これから自分ができることを小さなことでも取り組んでいきたいです。



【ベーさん】

今回のイベントではSDGsの一環としてフィリピン、北タイ、ネパールのフェアトレード商品を取り扱いました。どれも高い技術力が必要とされるものでとても感動しました。また、他の団体の取り組みも知ることができ、有意義な活動となったので参加出来て良かったです。

【チョコ】

多くの人と関わるいい機会になりました。特に同じボランティア団体の方と沢山お話を出来たのでフェアトレードなどに携わる方々についてよく知ることが出来ました。

平和と公正をすべての人に。

### YMCA の国際協力募金にご協力をお願いします。

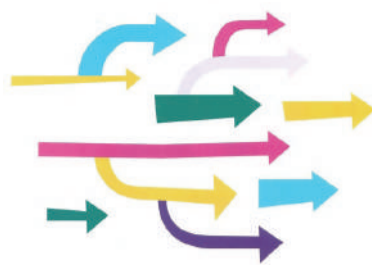
YMCA では国際協力募金を実施しております。戦争や災害で住むところを突然失った人、お金がなくて困っている人、YMCA はそういう困ったことが少しでもなくなるように募金活動を行っております。

子どもたちが夢や、希望をもち、生きる楽しさや喜びを感じられるように。どこに暮らしていても、安心して学び、遊べるように。分かち合い、助け合い、平和な社会を築いていくように。一人ひとりが change agent、社会を変える一員です。

YMCA の国際協力募金にご協力よろしくお願いします。



YMCAが実現したい世の中の姿



### 互いを認め合い、高め合う 「ポジティブネット」のある 豊かな社会を創る。

#### 「ポジティブネット」 Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

#### SDGsの実現に向けて



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年に国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための開発目標です。17のゴールから構成され、地球上の誰一人として取り残されないことを誓っています。私たち一人ひとりが社会課題を「自分ごと」として考え、行動することが第一歩となります。

## 月刊# (ハッシュタグ)



### 第7回 #なにそれなにそれ

#ネガティブ・ケイパビリティ #若松英輔

#ポジティブ・ウェルビーイング #第52回全国リーダー研修会

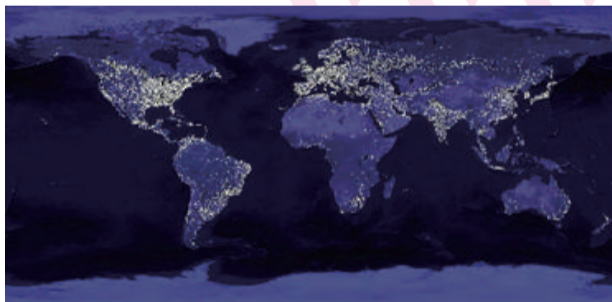
とちぎYMCA総理事  
塩澤 達俊

「きのこの山」か「たけのこの里」か? 「つぶあん」か「こしあん」か? 「そば」か「うどん」か? 国民的議論になるほど意見が分かれますね。

政治や経済の世界でも似たようなことがありました。

かつてドイツのベルリンに「壁」があった時代には「東側」か「西側」か? で世界が二分されていました。また SDGsの今でも「南」か「北」か? と世界が分かれて (分断されて) います。写真は NASA データから作った “夜の地球” で電気の灯りで南半球と北半球の消費と発展の格差がよくわかります。

このように「あれか? これか?」と単純に分けて考えるとモノゴトは分かりやすくなるのですが、コロナ以後のSDGsの社会や世界の課題は多面的で多様性があり複雑系だから「あれ



か? これか?」でスパッととはゆきません。

そんななか、2021年の第52回全国YMCAリーダー研修会(10/17~3回)はとちぎYMCAの若手スタッフが主幹で企画立案した意欲的な研修で、「答えなき問いを生きる: ネガティブ・ケイパビリティ × X = ポジティブ・ウェルビーイング」と題されています。

シンドそう、ムズカシそう、めんどくさそう、抽象的ですねー。

9月の申し込みスタート時には参加者が10数名程度で「やっぱり; \*\*」といった感じでしたが、あれよ、あれよと100名以上のエントリーがあり大ZOOM集会となりそうな気配です!

別の意味で「やっぱり! ^^」です。若ものや今の時代の気持ちを見事に代弁して「答えなき問いを生きる!」を的中させて叫んでいたんですねー。とちぎYMCAの若ものスタッフ、さすが! です。

ということで、「答えなき問いを生きる: ネガティブ・ケイパビリティ × X = ポジティブ・ウェルビーイング」がどんなことになりそうですか、次回#をお楽しみに!

## information とちぎYMCAの予定

### 11月の予定

- 11月13日 わくわくトライキッズ
- 11月14日 地球・おもいやりマルシェに出店 (もみじ通り)
- 11月20日 とちぎY 野外クラブ 11月活動
- 11月21日 Yキッズ 11月活動
- 11月28日 全国YMCA リーダー研修会③: とちぎYMCA 主管 (オンライン)

### 12月の予定

- 12月26日 -28日 Music 3Days
- 12月28日 ワンデイスキー①
- 12月29日 ワンデイスキー②

### 2022年1月の予定

- 1月4日 -6日 冬っこ 3Days
- 1月8日 -9日 那須チャレンジスキーキャンプ
- 1月8日 -10日 那須エンジョイスキーキャンプ



とちぎYMCAの日常をご覧ください。

instagramもはじめました!  
tochigi\_ymca

